

下牧こども園の「最強清涼機」がパワー全開！！

6月18日（水）のことでした。事務室にパンツ一丁で現れた園児が「スプリンクラーお願いします。」と満面の笑顔でした。この日は気温30度越えの真夏日。こんな時、まさにスプリンクラーは、暑さからにげどころか暑さを喜び、真っ青な芝の上を裸足で走り回ることを応援してくれる最強の清涼機です。日本広し



といえど、全国にこんな園や学校があるだろうか、我が園だけではないかと思うほどに、子どもがエネルギー無限なくらいに水しぶきの下を縦横無尽にかけめぐる景色が誇らしいです。

このスプリンクラーも真っ青な芝も、下牧こども園がこの場所への移転時に、故後藤守宏様より、故郷愛からの多大なる寄附にて整備されたと聞いています。しかも、芝は地元の皆様のご協力を得て植えることができたとも聞いています。改めて地域の皆様への感謝の念が膨らまされます。

「みょうが餅」のおばちゃんと夢を交流

6月26日（木）、今年も「更生保護女性の会」のご協力を得て「みょうが餅作り」を実施できました。みょうがの葉とあんこ皮の部分は、おばちゃん4人が下準備をしてもってきていただきました。子どもたちはおばちゃんたちに見守られながら、あんこを適量とって、皮を伸ばして、皮で巻いてみょうがの葉を巻く作業を楽しみました。蒸して完成するまでの間に、子どもたちは歌やおどりを披露し、さらに七夕の短冊に書いた夢や願いを紹介しました。

その後には担任からお願いしておばちゃんたちにも夢を話していただきました。市役所広報の女性も話していただきました。子どもの夢もおばちゃんや広報の方の夢も、みんなすごくすてきで、思わず「おー！」とうなり声が出たり温かい拍手に包まれたりしました。



さて、いよいよ「いただきまーす！」、一斉にほお張りしました。「なんかうまくてきてる感じ」「あまい！」「おいしー！」「あんこが苦手なの」とつぶやきも様々。4人の方は、食べることも忘れるくらい、おいしそうにほお張る子どもたちの顔を見つめて優しい笑みを浮かべてみえました。